

照明の部分消灯

工場での蛍光灯の間引き事例

- 事務室や倉庫および通路照明など直接生産工程に関与しない照明を半分(50%)消灯(ランプを灯具から直接抜く等)することで節電できます。(50%部分消灯した場合)

試算例

朝9時～夜8時の間に照明の半分(50%)を消灯すると...
(延床面積7,500m²相当の工場の事例)

■ 節電効果: **節電効果 39万円/年** 【高圧電力S単価を適用】
節電電力 約 9.3kW
節電電力量 約 25,500kWh

■ 対策内容: 通路, 事務室および倉庫照明の50%消灯

■ 計算式: 節電電力(kW) = 消費電力 × 部分消灯率
 節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

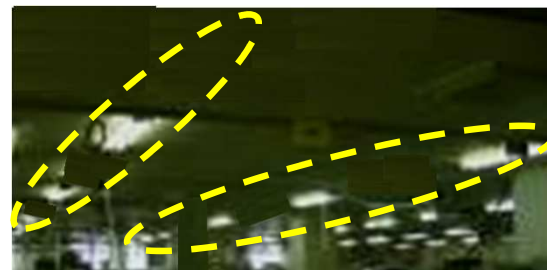
消費電力: 18.6kW
 {(通路: 40W × 2灯式 × 126台) + (事務室: 40W × 2灯式 × 56台) + (倉庫: 40W × 2灯式 × 50台)}

部分消灯率: 50%
 対象時間: 11時間/日(9:00~20:00)
 対象日数: 250日/年

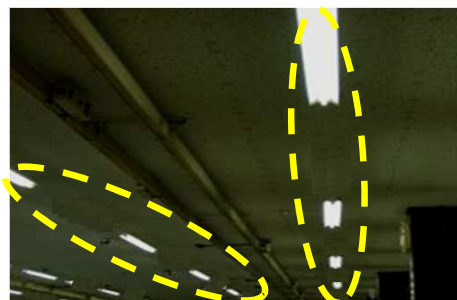
ポイント

- 照明を消灯すると室内の発熱量が減少するため、空調負荷も低減します。
- スタータ式では、ランプを外すと電流が増加し加熱する器具があるのでご注意ください。ラピッドスタート式・インバータ式では、1本のみランプを外すと消灯したり、微放電するため2本とも外さなければならない器具があります。また外すのが好ましくない器具もありますのでご注意ください。詳細はメーカーにご確認下さい。

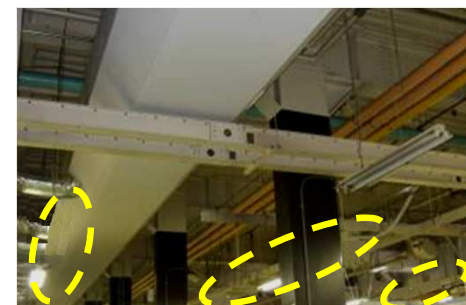
参考



通路照明の部分消灯



事務室照明の部分消灯

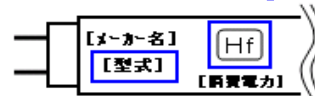


倉庫照明の部分消灯

直接生産工程に関与しない箇所での50%部分消灯(イメージ)

<参照>

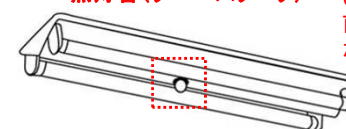
インバータ式:「Hf」のマーク



ランプ型式: スタータ式:「FL」
 ラピッドスタート式:「FLR」

蛍光灯型式の確認方法

点灯管(グロースタート)



スタータ式蛍光灯

※スタータ式では豆電球ぐらいの点灯管があり、蛍光灯点灯前に、1, 2秒程度この点灯管が点灯します。

注) 本内容はお客さまの運用状況等によって異なる場合がございます